Newsletter 特定非営利活動法人ジェン
2023 | Vol.91 夏
JEN Japan Emergency NGO

パキスタン

洪水の被害から、立ち上がろうとする人びとと共に

村の抱える課題や今後についてのヒアリング

未だに多くの人びとがテント生活を送っている

未だ洪水の水が残る地域も

●洪水被災者緊急支援

昨年6月からの大洪水から約1年経った洪水被災地では、厳しい暮らしが続いています。シンド州ダドゥ郡でも、米や小麦、豆等を栽培していた農地が水没して甚大な被害を受け、食糧も収入源も奪われたままです。被災された方々は、荷物の積み下ろし等の日雇い労働でわずかな現金収入を得ていますが、仕事口は少なく、仮に日雇い仕事を得られたとしても、記録的な物価高騰で生活は苦しい状況です。食事は1日に1食、それも量を減らしていて、避難の際に他の家財を捨て置いて何とか連れ出して生き延びた家畜のミルクでしのいでいます。また、政府が引いた水を飲み水として使っていますが、供給が不安定なので、井戸水を併用せざるを得ないとのことでした。この井戸水はカナダのNGOの調査で安全ではないと確認されているけれど、これに頼る他ないのが現状です。5月となった現在は、気温が45度にも達し、テントで暮らすことは想像を絶する事態となっています。

2月下旬にジェン東京本部の職員が現地を訪問した際には、各家庭を訪問し、配布した食糧を大切に消費してくださっていることを確認しました。この時、気温はまだ35度でしたが、今まで生きてきた中で最も厳しいという声が聞かれました。同時に、過酷な状況に耐えながらも、復興への強い思いを直接伺うことができました。暮らしの再建のためには、洪水以前からの生計手段であった農業の復興が不可欠です。ジェンは自立に向けて立ち上がろうとする人びとの営みを支え、共に歩んでまいります。

分断ではなく協働のために違いを認識する

先日、「曜変天目(ようへんてんもく)」を観る機会を得た。12〜3世紀に中国で焼かれた茶碗で、世界に3点しかないと言われ、その3点全てが日本にあるという。まさに茶碗の中に宇宙が煌めく、吸い込まれるような美しさだった。それぞれが全く違う個性を持ち、斑文のどれ一つでも違う形や位置に置かれたとしたら全く別の風情となってしまう。

ジェン東京本部は、この2月以降3名の新しい仲間を迎え入れた。6月にも以前退職したが戻ってきてくれる仲間もいる。少人数の組織の醍醐味なのか一人加わる度にジェンという宇宙がぐわんと変容する。一人ひとりがみな違い、違いをありのままに活かしてゆくことで、たった一人では不可能だった活動が可能になる。支援の受け手の関与を重視するジェンの支援事業では、職員だけでなく被災された方々の個性も大きく影響する。個々の個性がとてつもなく大切なのだ。これまで関わってくれた全ての人の違いを融合して、今のジェンができてきた。これからも多くの個性を受け入れて変容することを自らに許し、よりよい世界が立ち現れることができる様、曜変天目の様に煌めく支援活動を産み続けられる組織でありたい。

JEN理事・事務局長
木山 啓子

スタッフのひとこと

母の誕生祝いで実家に行き、10年ぶりに妹に直接会いました。年齢を重ねると、会えば「健康」の話題で盛り上がると聞いていましたが、その通りでした。ただ、お互いに少し白髪が混じり始めたものの、声も話し方も、笑った顔も、変わっていませんでした。体調を崩しやすい梅雨の季節になりました。皆さま、くれぐれもご自愛くださいませ。
(グローバル事業部E.I.)

ジェンの活動をお友達にご紹介ください

月々1,000円から始められる寄付プログラム
JENサポーター(継続寄付)

紛争や災害で厳しい状況にいる人びとが、自分で明日を選び、暮らせるように。月々1,000円からのJENサポーターの輪を広げるご協力を、ぜひお願いします。

ご自宅に眠る「モノ」で寄付する
JENのお宝エイド®

使わなくなった商品券、未使用切手、書き損じはがき、外国切手など、ご自宅に眠っている"お宝"でジェンをご支援いただけませんか。本ニュースレターに同封しました封筒をぜひご利用ください。

※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載は固くお断りいたします。
※QRコードを読み取る際、無料アプリをお使いの方は、アプリによって広告が表示される場合がございます。間違って広告をクリックされないようご注意ください。
※ゆうちょ窓口・ATMで現金支払いの場合、同封の赤枠の振込用紙を使っても振込手数料が110円かかります。
手数料についての詳細はゆうちょ銀行のホームページ(https://www.jp-bank.japanpost.jp/ryokin/rkn_sokin.html)にてご確認ください。

東京本部事務局の住所について

今回ニュースレターをお送りする際に使用している封筒の記載住所は旧住所となります。
修正に要する費用などを勘案した結果、封筒に表示する住所については、当面古いままで使用し続けることといたしました。
皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜われますようお願い申し上げます。

JEN Japan Emergency NGO
特定非営利活動法人ジェン(JEN) 東京本部事務局
〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-27-305
TEL : 03-5114-6201 FAX : 03-5114-6202
ホームページ https://www.jen-npo.org/
NPO JEN 検索
Japan.Emergency.Ngo
@NGO_JEN ngo_jen

このニュースレターは継続可能な森林管理のもと生産された原料で製造された紙、FSC™認定紙を採用しています。
GREEN PRINTING JFPI P-B00000 東京支店
ミックス品 FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです www.fsc.org Cert no. SA-COC-000000 © 1996 Forest Stewardship Council

パキスタン

洪水被災者への食糧支援を実施しました

2022年6月から続いた豪雨等の影響で発生した大洪水は、被災地に大きな爪痕を残しています。今年3月のユニセフの報告によると、被災地では150万人もの子どもたちが深刻な栄養失調で、安全な水や適切な衛生設備にアクセスできないことでその数は増加していくと予想されています。

ジェンは被害の大きかったダドゥ郡の3地区で、507世帯(約3,549人)へ2カ月分の食糧を配付しました。配布した食糧パッケージには、現地の主食である米や小麦粉の他、文化的に重視されているチャイ用の紅茶を含めていました。モニタリングの際、被災者の女性はこのような厳しいときでも紅茶を飲むことができる幸せを満面の笑顔でお話されました。

妊娠中に食糧を受け取ることができて助かったと話された女性と3人の子どもたち

緊急時であっても現地の文化や習慣を尊重した支援を実施することは、被災された方の精神面のサポートに繋がります。敷物を手縫いする仕事を行っている別の被災者の女性は3人の小さな子どもがおり、4人目の子どもを妊娠中でした。子どもが生まれる前の大事な時期に食糧を受け取ることができて本当に助かったと話されていました。ジェンは引き続き、ダドゥ郡で人びとの栄養状態の向上、食糧事情の改善を目指し、農業支援を実施していきます。

＊本事業は株式会社ゼンショーホールディングス様のお客様と従業員の皆さまから寄せられた募金とジェンへの寄付金により実施いたしました。

紅茶を飲むことができる幸せを共有してくださった女性(写真中央)

トルコ・シリア地震

緊急支援を開始しています

ジェンは2月にトルコとシリアで起きた大規模な地震と余震で被災された方への、緊急支援を行っています。被害が甚大な地域のひとつ、トルコ南東部のサンリウルファ(シャンルウルファ)の避難キャンプでは、豪雨による水源の汚染が起きたことを受け、1世帯5リットルの飲料水を計9,740世帯に配布しました。小さな子どもや乳児のいる世帯では特にミルク用に重宝されたという報告がありました。今後もニーズを見極めながら飲料水や物資の配布を実施していきます。

10年以上続く紛争の影響からインフラが破壊され、支援も届きにくいシリアでは、ニーズの高い水衛生支援を行っています。シリアの避難キャンプでは衛生施設の数が不足しており、コレラ等の感染症の拡大が懸念されています。ジェンは手洗い場を備えたトイレの設置や飲料水の供給支援を行い、人びとの衛生環境の向上と健康維持を目指します。

未だ多くの方がテントでの避難生活を送る中、ジェンは引き続き被災された方の自立を支える支援を行ってまいります。

※本事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成金やジェンへの寄付金により実施しています。

がれきの撤去作業が続くシリアの被災地

避難キャンプでの飲料水の配布

アフガニスタン

新事業「フード・フォー・ワーク」が始まりました

食糧危機の続くナンガルハル県の、干ばつによる被害が深刻なダラエヌール地区で、国内避難民、帰還民、脆弱な立場にある地元の人びと合計800世帯(約5,600人)への食糧支援事業を開始しました。妊娠中・授乳中の女性がいる世帯、女性・子ども・障がいや慢性疾患を持つ方が世帯主の世帯という基準に基づき特定した400世帯には食糧を配付。障がいや慢性疾患を持つ方がおり、18歳以上の、働ける状況にある失業中の男性がいる世帯には、灌漑用水路の整備に従事する対価として食糧(フード・フォー・ワーク)を配付します。アフガニスタンでは多くの地域でカレーズと呼ばれる、地下水脈を利用した灌漑用水路が農業に利用されていますが、頻発する洪水や地震の影響から水路の整備が必要な状況です。本事業ではエンジニアによる指導の下、住民の方が4カ月で30の水路を整備し、事業後も地域の人びとが自ら維持管理を実施していけることを目指します。

※本事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成金やジェンへの寄付金により実施しています。

食糧を受け取られた方

灌漑用水路整備作業を行う地域住民の方がた

パキスタン

洪水被災者への農業支援

種子の配布

ジェンは洪水被害が大きく支援も行き届いていないシンド州ダドゥ郡で、脆弱な1,400世帯の農家に対し、種子や肥料、野菜栽培に必要な器具を配付しています。ダドゥ郡の人びとは、洪水発生前には野菜を常備し、作付け用の種子や農具も保有していました。洪水でそれらが失われ、農業を再開できていない多くの小規模農家が食糧危機に瀕している現状です。本事業では研修によりオクラやトマト等の野菜栽培促進活動を推進し、人びとの食糧確保と栄養改善を目指します。ジェンは引き続き、支援を継続してまいります。

※本事業は、ジャパン・プラットフォームからの助成金やジェンへの寄付金により実施しています。

種まきに関するブリーフィング

ガタオ・チャリティ・プロジェクトのご報告

木下インターナショナル株式会社様のご厚意でガタオCANワインをお得に購入できるチャリティ・キャンペーン「ガタオ・チャリティ・プロジェクト」を実施しました。購入額の一部がジェンへの寄付となる本キャンペーンの結果をご報告いたします。

実施期間 2022年11月18日～2023年2月28日
売上数 72箱
寄付額合計 14万4,000円

木下インターナショナル株式会社様、ご協力くださった皆さま、大変ありがとうございました。

ありがとうございました！